

平成30年12月28日

クレジットカード不正利用被害の集計結果について

一般社団法人日本クレジット協会

一般社団法人日本クレジット協会（会長 杉本 直栄）は、クレジットカードの不正利用の実態を明らかにするため、クレジットカード発行会社を対象としたクレジットカード不正利用被害実態調査を継続的に実施しており、このたび、平成30年第3四半期（7月～9月分）の集計値をとりまとめました。

これによると、今四半期の不正利用被害額は50.3億円で前期比（平成30年第2四半期（4月～6月））では13.7%の減少、不正利用被害額に占める偽造被害額は3.7億円で11.9%の減少、番号盗用被害額は39.0億円で16.3%の減少、その他不正利用被害額は7.6億円で1.3%の増加となりました。

なお、前年同期（平成29年7月～9月）の不正利用被害額は57.2億円であり、前年同期比では12.1%の減少となりました。

※ 詳細は、「別紙 クレジットカード不正利用被害の発生状況」を参照してください。

◎お問い合わせは下記までお願いいたします。
一般社団法人日本クレジット協会 業務企画部
〒103-0016 中央区日本橋小網町14番1号
住生日本橋小網町ビル
TEL 03-5643-0011

投稿先：東商記者クラブ・日銀記者クラブ